

【別記 1】 放射性物質を含む水の海域への流出事象に関する通報連絡一覧

	通報連絡日時	通報内容
1	平成23年12月4日 F A X 発信 15時13分	<ul style="list-style-type: none"> ・本日11時33分頃、協力企業作業員が蒸発濃縮装置周辺の堰内に水が溜まっていることを確認しました。そのため、11時52分に蒸発濃縮装置(3A)を停止し、漏えいは停止していると思われます。その後調査を行っていたところ、14時30分頃コンクリートのひび割れから堰の外(側溝)に漏れ出ていることが確認されました。現在、漏えいを止めるための応急措置を検討中です。
2	平成23年12月4日 F A X 発信 17時09分	<ul style="list-style-type: none"> ・第1報でお知らせしました蒸発濃縮装置周辺の堰内に水が溜まっている件について、その後調査したところ水が漏れ出た屋外の側溝が構内の一般排水路に繋がっている可能性があるため、現在詳細について調査中です。 尚、堰外に漏れ出た水の付近の表面線量率はガンマ線が1.8mSv/h、ベータ線が110mSv/hです。
3	平成23年12月4日 F A X 発信 19時04分	<ul style="list-style-type: none"> ・第1報、第2報でお知らせしました蒸発濃縮装置周辺の堰内に水が溜まっている件についてですが、堰外に漏れ出た原因については調査中ですが、以下のような応急対策を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸発濃縮装置を設置している建屋(ハウス)の漏えい箇所を土壌で囲いました。 ・一般排水路に繋がって箇所土壌を積み、側溝の流れを止めました。 ・ハウス内に滞留している水は水中ポンプにて抜き出しを行う予定です。 尚、堰内の水をサンプリングして、核種分析を行いましたので、その結果を報告します。 <p>(単位：Bq/cm³)</p> <p>I-131(半減期：約8日) 検出限界未満 Cs-134(半減期：約2年) 1.6×10¹ Cs-137(半減期：約30年) 2.9×10¹</p>
4	平成23年12月4日 F A X 発信 22時00分	<ul style="list-style-type: none"> ・第2報でお知らせしました、蒸発濃縮装置からの漏えいについてですが、水が漏れ出た屋外の側溝は構内の一般排水路に繋がっていることが確認されたことから、蒸発濃縮装置付近の一般排水路の水及び南放水口付近(一般排水路の出口付近)の海水をサンプリングし、核種分析を行いましたので、その結果を報告します。南放水口付近の分析結果は至近の分析結果と比較すると、同程度もしくは若干高い程度の値となっています。今後もサンプリングを行い、傾向を監視します。(単位：Bq/cm³) ・南放水口付近(採取日12月4日17時5分) <ul style="list-style-type: none"> I-131(半減期：約8日) 検出限界未満 Cs-134(半減期：約2年) 1.3×10⁻² Cs-137(半減期：約30年) 1.8×10⁻² ・排水路(蒸発濃縮装置付近)(採取日12月4日17時25分) <ul style="list-style-type: none"> I-131(半減期：約8日) 検出限界未満 Cs-134(半減期：約2年) 6.2×10⁻² Cs-137(半減期：約30年) 5.2×10⁻²

5	平成23年12月4日 F A X 発信 22時58分	<ul style="list-style-type: none"> ・第2報でお知らせしました蒸発濃縮装置を設置している建屋(ハウス)内に滞留している水の応急処置については、水中ポンプ等で汲み上げ、淡水化装置の廃液供給タンクに移送しました。(移送終了時間 22時20分)
6	平成23年12月5日 F A X 発信 1時31分	<ul style="list-style-type: none"> ・第4報でお知らせしました、蒸発濃縮装置下流付近の一般排水路の水について、再度サンプリングを行うとともに、比較のためにその上流(約200m)の水を併せてサンプリングし、核種分析を行いましたので、その結果を報告します。全て検出限界未満でした。(単位: Bq/cm³) ・排水路上流側(採取日12月4日22時7分) I-131(半減期: 約8日) 検出限界未満(検出限界値: 6.1×10^{-3}) Cs-134(半減期: 約2年) 検出限界未満(検出限界値: 1.4×10^{-2}) Cs-137(半減期: 約30年) 検出限界未満(検出限界値: 1.7×10^{-2}) ・排水路下流側(蒸発濃縮装置付近)(採取日12月4日22時16分) I-131(半減期: 約8日) 検出限界未満(9.1×10^{-3}) Cs-134(半減期: 約2年) 検出限界未満(1.8×10^{-2}) Cs-137(半減期: 約30年) 検出限界未満(2.0×10^{-2})
7	平成23年12月5日 F A X 発信 10時49分	<ul style="list-style-type: none"> ・第4報でお知らせしました、蒸発濃縮装置下流付近の一般排水路の水及び南排水口付近(一般排水路の出口付近)について、本日も引き続きサンプリングを行うとともに、比較のためにその上流(約200m)の水も併せてサンプリングし、核種分析を行いましたので、その結果を報告します。排水路については、全て検出限界未満でした。南放水口については最近の分析結果と同程度の値となっています。
8	平成23年12月6日 F A X 発信 17時35分	<ul style="list-style-type: none"> ・第1報でお知らせしました、蒸発濃縮装置からの漏えいにつき、第4報、第5報ならびに第6報でお知らせしました、サンプリング結果について、β核種の分析結果も併せて報告します。 また、今回の漏えいで、堰の外に漏えいした水は約240リットル、海洋へ流出した水は約150リットル、流出した全放射線量は2.6×10^{10}ベクレル(暫定値)と評価しました。